

本校ウエイトリフティング部が南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

海端(薩摩中央) 89キロ級V 男子

重量挙げ

(入来総合運動場体育館)

【男子】

▽55キロ級 ①中園郁人(薩摩中央) 99キロ(スナッチ44キロ、ジャーク55キロ) ②雪丸(鹿屋農) 77キロ(35キロ、42キロ)

▽61キロ級 ①高原喜彦(鹿屋農) 93キロ(スナッチ43キロ、ジャーク50キロ) ②出場1人

▽67キロ級 ①安田空正(鹿屋農) 127キロ(スナッチ57キロ、ジャーク70キロ) ②上浦(薩摩中央) 112キロ(51キロ、61キロ) ③肥田木(鹿屋農) 92キロ(40キロ、52キロ) ④大重(同)

▽81キロ級 ①上堀聖仁(薩摩中央) 183キロ(スナッチ85キロ、ジャーク98キロ) ②小路口(鹿屋農) 162キロ(70キロ、92キロ) ③上野(薩摩中央) 70キロ(30キロ、40キロ)

▽89キロ級 ①海端修生(薩摩中央) 出場1人



▽71キロ級 ①日高菜々子(薩摩中央) 154キロ(スナッチ70キロ、ジャーク84キロ) ②出場1人

▽団体 ①薩摩中央15点

※◎11全県大会(8月11、14日・北海道と九州大会) 6月17、18日・長崎県に出場。◎11九州大会出場。男子団体2位までが九州大会出場

男子89キロ級で優勝した海端修生(薩摩中央)
＝入来総合運動場体育館

自己新をマーク

○男子89キロ級の海端(薩摩中央)が本領を発揮した。下半身と背筋力を生かして、スナッチで103キロの自己新をマーク。「自己新を出せてうれしい」と笑みを浮かべた。

身長176センチで太もも回りは60センチ。デッドリフトとフルスクワットは180キロを持ち上げる。金城聖丸監督が「薩摩中央では一番重さを上げる。持ち味は

▽64キロ級 ①角井くら(薩摩中央) 72キロ(スナッチ32キロ、ジャーク40キロ) ②川口(同) 58キロ(25キロ、33キロ)

▽71キロ級 ①日高菜々子(薩摩中央) 154キロ(スナッチ70キロ、ジャーク84キロ) ②出場1人

▽団体 ①薩摩中央15点

※◎11全県大会(8月11、14日・北海道と九州大会) 6月17、18日・長崎県に出場。◎11九州大会出場。男子団体2位までが九州大会出場

中学2年の時、コロナ禍の「おうち時間」で筋力トレーニングに目覚め、高校から競技を始めた。高校1年で肘を損傷したが、約1年かけ復帰した。「妥協はない。スナッチ130キロ、ジャークは150キロが目標」と意気込んだ。(今村清太郎)

3度成功に自信

薩摩中央・日高菜々子(女子71キロ級優勝)「いつもは3本に一度くらいしか成功しないスナッチが3度とも成功した。絶対に持ち上げるという気持ちの強さは誰にも負けない。インターハイでは上位3位以内を目指す」